

第7回 南河内在宅医療を考える会

謹啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、今般、南河内における在宅医、訪問看護師、ケアマネージャの方々のご指導のもと
下記要領にて『第7回 南河内在宅医療を考える会』を開催するはこびとなりました。
ご多用の際、誠に恐縮ですが、万障お繰り合わせのうえご臨席をお願い申し上げます。

謹白

記

日時：5月16日（土曜日） 17:00～18:30

場所：藤井寺市立市民総合会館 別館 中ホール

藤井寺市北岡 1-2-3 TEL：072-939-7020

【学術講演】

『糖尿病治療薬の新たな潮流』

武田薬品工業(株) 岩崎 剛士

< 座長 >

前田クリニック 院長 前田重成 先生

数尾診療所 院長 数尾 展 先生

特別講演

「キュア志向の病院医療(治す医療)から
ケア志向の在宅医療(生活を支える医療・病院外医療)へ
ー地域包括ケアシステムの構築を目指してー」

医療法人ナカノ会 ナカノ在宅医療クリニック
理事長 中野 一司 先生

日本医師会生涯教育制度・・・1.5単位 カリキュラムコード・・・13, 14, 80

当日、軽食をご用意しております

共催：藤井寺市医師会／武田薬品工業株式会社

後援：☆☆☆医師会／☆☆☆医師会／☆☆☆医師会／☆☆☆医師会

☆☆☆医師会／☆☆☆医師会／☆☆☆医師会

----- きりとり線 -----

ご参集の際は、誠にお手数ですが、下記事項を記載のうえFAXをお願い申し上げます

御施設名 _____

御出席人数 _____ 名

FAX:072-990-3958

武田薬品工業・山口 宛

講演会要旨

中野 一司 (なかの かずし) 先生



御略歴

[現職名]

医療法人ナカノ会 理事長
ナカノ在宅医療クリニック 院長
(一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会 ICT局長)

昭和62年3月 鹿児島大学医学部 卒業
昭和62年4月 鹿児島大学病院 第3内科入局
昭和63年1月 鹿児島大学医学部附属病院救急部にて研修
平成7年3月 医学博士号取得(研究テーマ:血液凝固学の分子生物学)
平成7年4月 鹿児島大学附属病院検査部 検査部内コンピュータネットワークの構築に従事
平成11年9月 ナカノ在宅医療クリニック開設
平成20年3月 鹿児島大学医学部臨床教授
平成26年3月 全国在宅療養支援診療所連絡会 第1回全国大会実行委員長

[著書]

在宅医療が日本を変えるーキュアからケアへのパラダイムチェンジ (ドメス出版:2012年12月)

[主な役職]

鹿児島大学医学部 臨床教授
全国在宅療養支援診療所連絡会 ICT局長
第11回日本在宅医学会大会長 (2009年開催)

講演要旨

演者は、村田理論¹⁾におけるキュア概念とケア概念(定義)を用いて、従来の”キュア志向の医療=病院医療”に対し、“ケア志向の医療=在宅医療(病院外医療)”という”在宅医療”の新たな医療概念を提唱している。²⁾

医療崩壊が叫ばれて久しい昨今、その誘因は諸説あるものの、超高齢社会を迎え、疾患構造が急性期疾患から慢性期疾患へ変化して、現在のキュア(治療)志向の病院医療を中心とした医療システムでは、現状(超高齢社会)に対応できなくなってしまうため、従来のキュア志向の病院医療を中心とした医療(システム)が崩壊しているのが現状と考える。見方を変えると医療再生(再編)のプロセスとも捕らえることができ、医療再生の行き着く先は①急性期病院(急性期医療、キュア志向の医療)の集約化・機能強化、②在宅医療(慢性期医療、ケア志向の医療)+介護(生活支援)の普及・連携と考えており、これらが相補的に連携しながら地域全体の医療を支えていくと予想され、その行き着く先が“地域包括ケアシステム”と考える。

本講演では、キュア志向の病院医療に対するケア志向の在宅医療(病院外医療)の新たな医療概念につき述べ、(病院中心型)医療システム崩壊後に展望される医療再生、すなわち地域包括ケアシステムの構築について述べる。また、介護の問題で自宅での生活が困難になった利用者に住居と介護を提供し、地域包括ケアシステムの構築の中で、新たな街創りを目指すケアタウン・ナカノ構想についても述べてみたい。

1) 村田久行:「改訂増補 ケアの思想と対人援助」川島書店 1998年

2) 中野一司:「在宅医療が日本を変えるーキュアからケアへのパラダイムチェンジ」ケア志向の医療=在宅医療という新しい医療概念の提唱」ドメス出版、2012年